

自治体外国人施策の実務

～第一線で対応する方のために～

外国人に対する自治体の窓口業務や外国人施策等を担当する方を対象とした入門研修として、以下の内容で実施します。

この研修では、平成30年の入管法改正を踏まえ、多文化共生の現状と課題、外国人住民を取り巻く制度や施策について理解し、外国人への対応等について、所属に関係なく共通する基本的事項を事例や演習等を通じて実践的に学びます。

演習のポイント

- 多文化共生の現状と課題、外国人住民を取り巻く制度や施策について理解します。
- 外国人住民に対する異文化コミュニケーションの技法や窓口対応などについて学びます。
- 外国人施策の企画・実施や窓口対応における課題と解決策について、受講者同士の意見交換やグループ演習を通じて理解を深めます。

開催要領

日 程	令和3年6月7日(月)～6月9日(水)(3日間)
場 所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対 象	市区町村、都道府県、または国際交流協会において外国人施策や外国人住民等に対する窓口業務に携わる職員(所属は問いません)。 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
募集人数	30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿 泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経 費	10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	令和3年4月21日(水)まで ※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。
申込方法	JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。 [Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(https://www.jiam.jp/doc/)に掲載しております。
受講決定	受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

令和3年

6月
7日(月)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 外国人の出入国在留管理について

出入国在留管理庁 在留管理支援部 在留管理課 在留管理業務室
出入国管理および在留管理の制度や最近の動向についてお話しいただきます。

15:50~17:00

講義 地域における多文化共生施策の更なる推進に向けて

総務省 自治行政局 国際室
地域における多文化共生施策の更なる推進に向けて、総務省における取組等についてお話し
いただきます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

講義・演習 外国人とのコミュニケーション~異文化理解について~

公益財団法人 滋賀県国際協会 副主幹 大森 容子 氏
文化的背景の異なる外国人を理解するために、ワークなどを通してコミュニケーションの手法や
異文化に対する理解について学んでいきます。

13:00~14:10

事例紹介 自治体の外国人施策の取組

岐阜県可児市 市民部 人づくり課
可児市で取り組んでいる、不就学0への取り組み、外国籍市民相談窓口の設置といった生活支援
事業について、また、令和元年度策定した「第3期可児市多文化共生推進計画」の作成過程につ
いて等、これまでに取り組んでこられた国際化施策についてご紹介いただきます。

14:25~15:35

事例紹介 外国人相談窓口業務の実際

神奈川県横浜市中区 国際サービス員 廣野 美賀子 氏
多様な問題を扱い、それぞれの問題を解決していかなければならない外国人相談窓口における
業務の実際と相談を受ける際の心構え、留意点等についてお話しいただきます。

15:50~17:30

演習 地域における多文化共生施策を考える(グループ討議)

京都府立大学京都地域未来創造センター 上席研究員 鈴木 暁子 氏
外国人住民が安心して暮らすために自治体に求められる視点および多文化共生をまちづくりに活
かすための視点について、これまでの講義で学んできた知識を踏まえ、受講者同士で討議し、違い
を認め合う多文化共生社会を推進するために必要な施策や対応策について検討していきます。

9:25~12:00

演習 地域における多文化共生施策を考える(発表・講評・ふりかえり)

京都府立大学京都地域未来創造センター 上席研究員 鈴木 暁子 氏
前日のグループ討議でまとめた資料について各班で発表を行い、全体で情報を共有し、質疑応
答等を行いながら理解を深めます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和3年

6月
9日(水)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

◆ 本研修の他、今年度JIAMでは多文化共生を総合的に学ぶ研修として、以下の研修を実施します。詳細についてはJIAM教務部までお問い合わせください。

研修名	研修期間		レベル	募集開始
多文化共生の実践コース (インターバル研修)	(前期)	令和3年7月7日(水)~9日(金)	中級者向け	4月26日(月)
	(後期)	令和3年9月15日(水)~17日(金)		
多文化共生の 地域づくりコース	第1回	令和3年8月30日(月)~9月3日(金)	初任者向け	6月7日(月)
	第2回	令和4年1月31日(月)~2月4日(金)		

※募集開始日は変更になる可能性があります。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。